

儀礼文化



五つの提言

日本文化の形と心を探ろう
生活に季節を織り込もう
わが家の年中行事を作ろう
子どもたちに伝統文化を伝えよう
ふるさとの祭りや行事に参加しよう

〔発行所〕 一般社団法人 儀礼文化学会
〒160-0012 東京都新宿区南元町 13-7
電話 03 (3355) 4188



開館 77 周年

明治記念館



天の岩戸 宇津女の舞



白狐の舞

神楽の中でも関東地方に多く見られるのが、神々の仮面をつけて神話劇を演じる「太々神楽」系統のものだ。特に都心部などでは「江戸の里神楽」という名前で、より演劇的に洗練されたものが見られる。一方、関東近縁には様式的な舞踊形式を残した神楽が広まっている。

山梨県もそうした地域の一つ。近世には神職が寄り合って祈禱の神楽を営んだとされるが、現在では地域の人々が記紀神話の神々の舞を中心に演じている。北杜市周辺には「大和神楽」などと呼ばれる神楽がいくつも伝わっており、春や秋に演じられる。

小尾という山の中の小さな集落で拝見した太々神楽では、午前中にさまざまな舞が演じられた。米を撒く白狐の舞など、人気の演目である。そして午後になると、恒例である天岩戸の長編が始まる。奥に岩戸を表す板を持った天照大神が座り、その前で神々が次々に登場して舞を披露していく。最後に岩戸が取り除かれ、大団円。そのあと餅撒きをしてお開きとなった。木立の中の神楽殿で演じられた美しい神楽であった。

山里に神々が舞い集う春の太々神楽

◎祭事スケッチ——写真と文 久保田裕道

〔山梨県北杜市須玉町小尾 神部神社 太々神楽〕

◎神部神社太々神楽

山梨県北杜市須玉町小尾 神部神社
五月三日

※変更の場合もあります

《3月号ガイド》

2面：定期大会催し／関西支部大会

3面：催しもの申込み方法

4・5面：令和7年度催しもの案内

6面：儀礼文化を語る／ミュージアム探訪

7面：儀礼文化のいま

8面：季節の料理